

会社案内



NIPPON STEEL ROLLS CORPORATION
日鉄ロールズ株式会社

はじめに

新日鐵と住金 圧延ロール製造技術の融合と革新 ～製鉄トップメーカーグループで培われた「歴史」と「信頼」～

1901年（明治34年）、新日鐵の前身である官営八幡製鉄所は、操業と同時に鋼材生産用圧延ロールの研究・開発に着手し、1909年（明治42年）に八幡の地で圧延用ロールの製造を始めました。

一方、1936年（昭和11年）の創業以来、圧延用ロールを中心に高い技術力を以って、（株）カントクはユーザーに奉仕してきました。

両社は永年に亘り鋳鉄・鋳鋼・特殊鍛造・ハイス等のロールを製造し、同時に新製品の開発を続け、新日鐵・住金の各製鉄所をはじめとして広く国内・海外のユーザーへロールを提供しております。

2006年4月、両社、即ち新日鐵の100%子会社である日鉄ハイパーメタル（株）と住金の100%子会社である（株）カントクの鋳造ロール部門が統合し、当社が誕生しました。

両社がこれまで培ってきた圧延ロール製造技術とアフターサービスを融合し、「ユーザーに頼りにされるロールサプライヤー」を目指し、鉄鋼業の発展に貢献していきたいと考えます。

豊富なノウハウ

ロールの材質ならびに製造技術の研究・開発は、新日鐵および住金の技術開発部門との密接な連携のもとに幅広く行っています。

ISOに基づいたQC(Quality Control) & QA(Quality Assurance)

圧延用ロールの製造から付帯サービスまでの品質管理は、ISOの品質管理システムに基づき実施しており、顧客の皆様安心してご使用いただける品質のロールを提供いたします。

ロール製造のあゆみ

(旧) 日鉄ハイパーメタル（株）

- 1909年（明治42年） 尾倉鋳造工場にて、軌条用サンドロール及び小形条鋼用チルドロールの製造開始
- 1942年（昭和17年） 戸畑区中原でロール鋳造工場及びロール加工工場操業開始
- 1964年（昭和39年） 遠心鋳造スリーブロールの製造開始
- 1966年（昭和41年） YNTロールの製造開始
- 1968年（昭和43年） ロール専用熱処理工場操業開始
- 1971年（昭和46年） 遠心鋳造熱延ロールの製造開始
- 1978年（昭和53年） 遠心鋳造厚板ロールの製造開始
- 1990年（平成2年） CPCロールの製造開始（業界初）
- 1999年（平成11年） 冷延ハイスロール用低周波誘導焼入れ装置を新設
- 2001年（平成13年） 日鉄ハイパーメタル（株）設立

(旧)（株）カントク

- 1936年（昭和11年） 関東特殊製鋼（株）創業
- 1952年（昭和27年） 鋳鉄ロール製造開始
- 1955年（昭和30年） 鋳鋼ロール製造開始
- 1957年（昭和32年） ダクタイル鋳鉄ロール製造開始
- 1970年（昭和45年） 鍛造アダマイトロールの製造開始
- 1971年（昭和46年） 遠心鋳造熱延ロールの製造開始
- 1975年（昭和50年） 小型遠心鋳造ロール、遠心鋳造スリーブロールの製造開始
- 1983年（昭和58年） 低周波誘導焼入れ装置設置
- 1988年（昭和63年） ハイスロールの製造開始
- 2003年（平成15年） （株）カントク設立

2006年（平成18年） 日鉄住金ロールズ（株）設立

2019年4月1日付けで親会社の商号変更に伴い、社名を「日鉄ロールズ（株）」に変更



注入作業

人の和を
大切にして
います



熱処理操作管理システム

確かなクオリティをお届けします



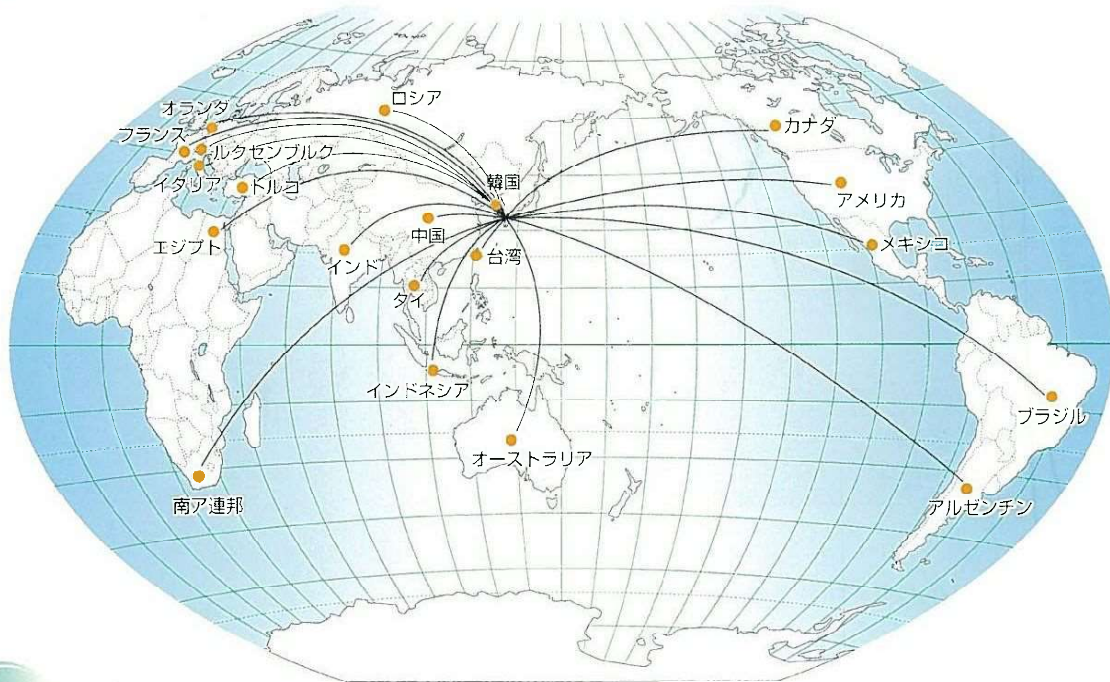
機械加工

非破壊検査



「ご安全に」
これが私達の挨拶です

海外の顧客



ACCESS



〒804-0002 北九州市戸畑区大字中原46番地の59
 問合せ先 総務部 TEL 093-872-7104 FAX 093-872-6465